

# 複数債権者・複数担保権者に係る問題

2007年11月14日

山 田 誠 一

## 1 問題の指摘

## 2 抵当権

### (1) 複数の抵当権

### (2) 1個の抵当権

#### (i) 複数債権者への後発的な帰属

- ・ 1個の被担保債権のための1個の抵当権が（被担保債権とともに）共同相続された場合
- ・ 1個の被担保債権のために1個の抵当権が設定されていたケースで、被担保債権の一部弁済の結果一部代位が生じ、被担保債権が2個の債権になった場合
- ・ 1個の被担保債権のために1個の抵当権が設定されていたケースで、被担保債権の一部譲渡が行われた場合

#### (ii) 複数債権者への当初からの帰属

- ・ 複数債権者の複数の債権が、1個の発生原因にもとづくものである場合
- ・ 複数債権者の複数の債権が、格別の発生原因にもとづくものである場合

#### (iii) 同一の債権者の複数債権を被担保債権とする場合

## 3 根抵当権

### (1) 複数の根抵当権

### (2) 1個の根抵当権

#### (i) 1個の根抵当権が債権者（根抵当権者）と債務者が同一の複数債権を担保する場合（民法398条の2）

#### (ii) 1個の根抵当権が複数の債権で債権者が異なるものを担保する場合

- ・ 元本確定前に根抵当権者が死亡し、共同相続が生じた場合（民法398条の8）

- ・共有根抵当権の場合（民法398条の14）
- ・根抵当権を分割して、その一方を譲渡する場合（民法398条の12第2項）

#### 4 動産質権

- (1) 複数の質権
- (2) 1個の質権

#### 5 債権質

- (1) 複数の債権質
- (2) 1個の債権質

#### 6 譲渡担保権

- (1) 複数の譲渡担保権
- (2) 1個の譲渡担保権

#### 7 セキュリティ・トラスト終了の際の問題

- (1) 問題の所在
- (2) 担保権だけを、移転することができるか
- (3) 受託者（1人）から、複数の受益者に、担保権を移転する場合の問題
- (4) セキュリティ・トラストの可能性

以 上